

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野譲次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary
Ichinomiya



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858



世界に希望を生み出そう

URL:<http://rc138.org> E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2024年2月8日 第3580回例会

会 長 足 立 誠 会長エレクト 佐々木久直
幹 事 富 田 隆 裕 副 幹 事 鶴 飼 雅 弘
副 会 長 山 上 哲 司 会 報 委 員 長 野 村 和 弘

お腹のすいた時の食物はおいしく、努力して手に入れた喜びは何物にも替えがたいものです。

プログラム
卓 話
渡邊 達也氏
(住宅都市局リニア関連都心開発部
名駅関連等参事)
テーマ「リニア中央新幹線の開業に向けた
名古屋駅周辺のまちづくり」

ロータリーソング「我等の生業」

第3579回例会の記録
2024年2月1日(木)

会長挨拶 足立 誠
私の職場に宗旨違いですが、空海(弘法大師)様の創建された「綜芸種智院」(しゅげいしゅちいん)の精神を表わす、訓戒の如き言葉が揚げてあり、時折中学生や高校生の皆さんに披露し、私も含めて皆が努力を怠らない戒めともしています。

物の興廃は必ず人に由る、人の昇沈は定めて道に在り」((人間の使う)「物」の興廃は必ず(使う側の)人に由(依)る。(私たち)人間の昇沈は定めて(何を求めて進むのかその)道に在る。)

物は私たちにとって本来生活の上での道具であり、目的ではありません。また人間の価値は、何を目的としてその道を歩んで行くのかによって決定します。

今の私たちの生活は、以前のモノの無い時代からモノの十二分に行き渡った飽和状態にあり、さらには精神的な満足へと急速に移行しています。

若い方々を中心とした、自らの精神的欲求を満たすための様々なツールは、驚くほどに深化発展しつつあります。これらの恩恵を受けるのは、過去から未来に至るまで、私たちの生身(まがみ)の身体であることは逆(さか)に変わっていません。ゲーム・SNS・薬物等々に快楽を求め、受け取る側の私たちの身体は何も進化していません。このギャップがやはり問題となって来ています。

今一度私たちが自然の中の一部であり、動物の中の一つの種であることを省みて、その上での精神的に一段上のステージに登ることこそが私たちの進化的なかもしれません。

次回の予定
藤平雄彦氏
豊通ファイティングイーグルス

理事会報告

富田隆裕

* 報告事項 *

- ☆ 1月度のプログラムは週報掲載
- ☆ 12月度のニコボックス 34,000 円
- ☆ 12月度のドリンクニコボックスは 1,645 円
- ☆ 子ども食堂報告
- ☆ RFF企業協賛広告依頼
- ☆ ロータリーレート 2月 147円(現行141円)

* 協議事項 *

- ☆ 以下の項目を承認
- ☆ 新事務局員雇用経費の奉仕箱基金取り崩し
- ☆ 新年夜間例会決算 1月25日(木)
- ☆ 春の親睦家族会開催 4月11日(木)
- ☆ 代1回RFF分区ブース協力金 10万円
- ☆ 臨時地区インターアクト委員会開催
- ☆ 第2回クラブ国際奉仕委員長会議登録
- ☆ 第52回真清田神社献書大会協賛
- ☆ RI第2760地区研修・協議会出席義務者登録
- ☆ 2月末引き落とし 1/25 夜間例会登録料

委員会報告

ニコボックス

近藤尚文

- ☆ 山田一仁君
先週の夜間例会、ご参加の皆様ご担当の委員会の皆様ありがとうございました。

同日靴を間違えて帰ってしまいました。近藤尚文さんごめんなさい。

- ☆ 速水英一君
先日の1月25日の夜間例会では、当店を御利用頂きまして誠にありがとうございました。お越し頂いた皆様の貴重なお時間を一期一会おもてなしさせて頂きました。至らない所がありましたら、お許しください。今後共よろしくお願ひ申し上げます。

- ☆ 足立 誠君 富田隆裕君
本日、松永製菓株式会社代表取締役社長・松永邦裕様にお越し頂き「メディアへの取組みと企業活動について」のテーマにて卓話を頂戴する喜びで。

出席報告

現在の会員数	110名
本日の出席数	67名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

松永邦裕氏
 (松永製菓株式会社代表取締役社長)
 テーマ「メディアへの取組みと
 企業活動について」



こんにちは。松永製菓の松永です。「しるこサンド」でご存じの方も多くお見えかもしれませんが、本日は松永製菓の取組みについてお話しいたします。



ロングセラー商品である「しるこサンド」は「1.発売以来変わらぬ味」「2.和洋折衷の斬新さ」「3.時代に沿った包装形態」が愛されるヒミツであると考えています。長く続けていると味を変えたのでは？とよく言われますが、味は全く変えていません。理由はこの味を愛していただいているからです。世の中美味しいお菓子は沢山ありますが、「あずきをビスケット生地でサンドし焼き上げる」という形態は、オリジナリティのある斬新な組み合わせですが、味はどこか懐かしいと言っていただく事も多いです。この「斬新さ」と「懐かしさ」の2つの要素が飽きられない理由と考えています。また、味は変えていませんが、包装形態は現在に至るまでに何度か変えています。発売当初は、測り売りをしていましたが現在は、個包装タイプが主流です。時代が大家族から核家族となり、個人で色々なものを楽しみたいという志向が強いためです。今後も時代の流れに沿って包装形態は変えていき、長く愛されるように工夫して参ります。近年では、メディアやSNSの必要性を感じている中で、専属の広報部を数年前に作りました。去年は「ちいかわ」に「しるこサンド」が登場したことで、大きな反響があり、「Yahoo!news」や「めざましテレビ」でも紹介されました。これは広告費換算で約6800万円の効果になります。SNSを始めたきっかけは、コアファン育成の為です。沢山の菓子がある中で、いかに松永のファンを作っていくかが今後大切と考えます。その中でInstagram、Xでファンが増え、SNS活動をする前と比べると、ネットで「しるこサンド」についての投稿は60%アップしました。注目されることで、購入機会の増加に繋がり、そしてファンになっていただける機会も増えました。また、地域貢献活動として名古屋グランパスのマスコットサポーターやナカジツCUPの協賛も行い、スポーツとの結びつきという側面も大切にしつつ、宣伝効果の手ごたえも感じています。また、SDGsが注目される昨今、当社では環境への負荷軽減を意識しています。

企業理念 -philosophy-

お菓子をつくること、
 それは笑顔をつくること。

おいしいお菓子を作ることは、食べる人の笑顔をつくること。

安心・安全なより良い製品を通して社会に貢献することをモットーに、当社が創業から買ってきた姿勢を常に忘れず、社員一同今後もたゆまぬ努力と挑戦を続けてまいります。



当社の企業理念は「お菓子をつくること、それは笑顔をつくること」。おいしいお菓子を食べてもらい、全員に笑顔になってほしいという思いを常に持ち続けています。

愛されるヒミツ

- ① 発売以来変わらぬ味
- ② 「和洋折衷」の斬新さ
- ③ 時代に沿った包装形態



環境への取り組み

- ・ 食品廃棄物の削減
- ・ ペーパーレス化の推進
- ・ 環境・クリーンエネルギー

食品産業廃棄物 リサイクル率

約 100%

ビスケットを焼く時にできる余りの生地は養豚場の飼料にし、包装したものはバイオマス燃料にしています。廃棄で終わらせず、少しでもエネルギーに変え、還元するようにしています。さらに食の楽しさを知ってもらう為、お菓子教室や食育講座を開催したり、貧困家庭への食の支援として「こども食堂」への寄付も行っています。今後も「しるこサンド」を皆さんに食べていただくと同時に、当社の地域貢献活動の取組みを知ってもらえたら幸いです。本日はありがとうございました。